

さんぽ木だより

2017
夏号
vol.21

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

白馬のように

六月になると
泰山木の花や
朴の花が
空たかだかと
咲き薫り
わたしの心を
白馬のように
天の彼方へと
駆けさせる



記念館中庭の泰山木

館長エッセイ

【第二十一回】国体特別企画展「坂村真民の世界—
すべての人に真民詩を ～ようこそ砥部町へ、
ようこそ坂村真民記念館へ～」に寄せて

えひめ国体を契機に、
記念館を知ってもらいたい

真民詩とわたし

夫とともに作り上げた「真民ワールド」

たかなし ようこ
高梨 庸子 さん

真民詩を読み解く ②

自分磨きの不思議な世界「鈍刀を磨く」
どんとう

記念館からのお知らせ

平成29年度坂村真民記念館

ボランティアガイド養成講座・募集要項

企画展のお知らせ

えひめ国体特別企画展

記念館おすすめの本

神渡良平著

『自分の花を咲かせよう

祈りの詩人 坂村真民の風光』

【第二十二回】国体特別企画展「坂村真民の世界―すべての人に真民詩を―
ようこそ砥部町へ、ようこそ坂村真民記念館へ」に寄せて

えひめ国体を契機に、記念館を知ってもらいたい。

愛媛県では、9月30日から10月30日にかけて、昭和28年以来64年ぶりとなる「国民体育大会」と「障がい者スポーツ大会」が開催されます。大会の開会式と閉会式が行われる愛媛県総合運動公園陸上競技場は砥部町にあります。

全国から両大会に参加する選手と監督等の数は、約2万8000人が見込まれ、応援の人を含めると、5万人から10万人の人々が県外から来られることとなります。特に開会式には、3万人の人が砥部町愛媛県総合運動公園陸上競技場に来られます。

坂村真民記念館では、この機会を記念館PRの絶好のチャンスととらえて、スポーツ関係者や障がい者の方々が関心を持ってもらえるような展示内容とした「国体特別企画展」を開催することにしました。

この展示では、オープン記念展以来

となる、坂村真民の代表的な詩墨作品を一堂に集めて、第一展示室と第二展示室を一体的に見ていただく予定です。

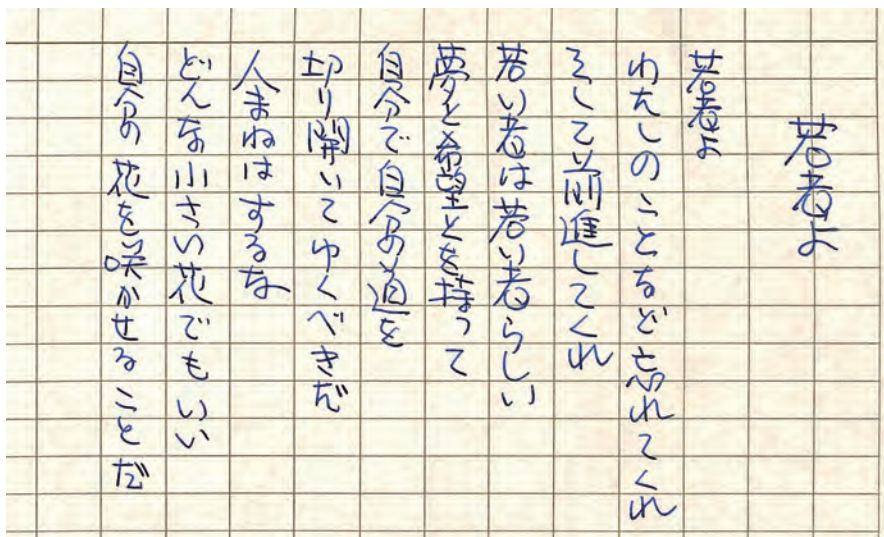
詩墨作品のない詩については、坂村真民全詩集の原稿から取り出した「万年筆で書かれた直筆の詩」を展示するようにしています。その中には、記念館で初めて公開される詩もあります。

また、砥部町をメイン会場として視覚障がい者のグラウンドソフトボールが行われることもあり、視覚障がい者のために点字パンフレットや真民詩の点字カードを作成しました。

まだまだ全国的には知名度がない坂村真民という詩人と真民詩を、全国の人々に知っていただく大きなチャンスです。砥部町としても、開会式当日には、総合運動公園陸上競技場とこの記念館のある大南地区とを無料

のシャトルバスを運行させることを検討していただいております、あらゆる手段を講じてこのチャンスを生かしていかなければならないと考えています。

全国の真民ファンの皆様にも、この機会に是非とも記念館に足を運んでいただければと思っています。



夫とともに作り上げた「真民ワールド」

高梨 庸子 さん(70歳)



昭和57年建立の20番碑とともに

横浜市磯子区にある真言宗の寺「宝積寺」には、花々に囲まれた多くの真民碑とともに、書と青芳人形を本尊とするテラノホールが設けられている。「真民ワールド」ともいえる安らぎと祈りに満ちた境内は、故高梨慧雅前住職が、奥様の庸子さんとともに、その生涯をかけて整備したものだ。



平成9年、テラノホール完成式で
高梨慧雅住職と

◆ 舊地蔵の建立

先生には、人々を守る地蔵尊のことを詠った詩があります。あの世とこの

◆ 夫婦が相前後して真民詩と出合う
私と真民詩との出会いは昭和53年ころ、寺に嫁いだ人間としてどう生きればいいのか、混沌とした自分に向き合っていた時期でした。真民先生の純粹で美しい詩に感動した私は、すぐに「詩国」を送っていただくようお願いしました。

同じころ、夫も仏教者・松原泰道先生の本で「なにかわたしにでもできることはないか」の真民詩に触れたのです。僧侶としての道を模索していた夫はこの詩に強く打たれ、奉仕こそが使命と、平成20年に63歳で亡くなるまで、ベトナム難民や障がい者、子どもたちへの支援を続けました。先生との出会いが、私たちの人生の方向を決めたのです。



舊地蔵を中心に、約200体の地蔵尊が並ぶ

◆ 本尊は「大宇宙大和楽」

先生の理想を形にしたいという思いで、夫は奉仕活動のかたわら、山門から裏山の頂まで、多くの花木と真民詩を刻んだ石を配すなど、境内の整備に力を注ぎました。

平成9年にはコンサートホールを併設する「テラノホール」を建てました。大地や地球を意味する「テラ」を冠した建物のご本尊は、大きな御恩をいただいた先生の「大宇宙大和楽」

と青芳先生のお人形です。
◆ 花曼荼羅の世界に満たされて
先生も夫も酉年生まれ。ご縁を感じて、平成5年に「とりの会」を催し、この時「鳥たちが幸せな世界は人も幸せ」という言葉を先生からいただきました。今年5月、3回目となる同会では、吉永邦治先生の「飛天展」を同時開催する予定です。

私の一番好きな詩は、仏様はいつもまわりにおられることを教えてくれた「み仏は風の如く」の詩です。花でうめつくされた境内は、み仏が舞う花曼荼羅そのもの。夫が精魂込めて作り上げた「真民ワールド」で、満ち足りた毎日を送っています。感謝合掌です。



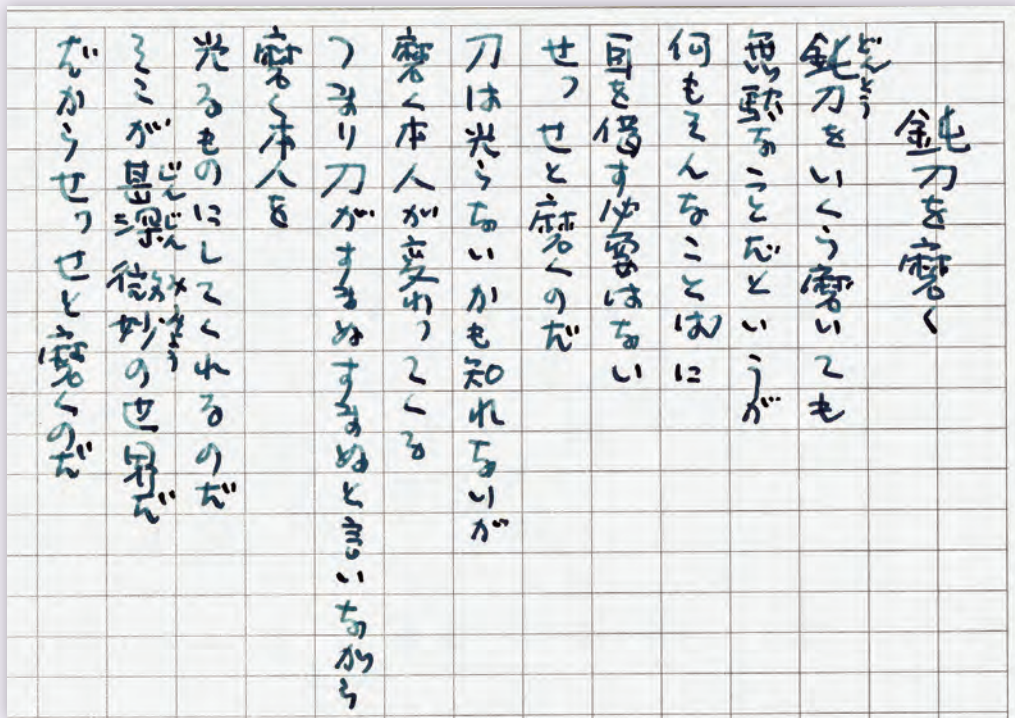
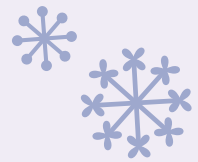
テラノホールのご本尊



境内の花は一年中絶えることがない

自分磨きの不思議な世界

「鈍刀を磨く」



昭和59年、真民が75歳の時の詩です。人生の晩年に差しかかり、詩人としての名前も全国的に有名になり、詩集も売れてきた頃です。

しかし、真民はあいかわらず、自身に対しては、厳しい修行僧のような生活を課していました。この詩は、75歳にして、まだまだ自分を磨いていかなければならないと、自分に言い聞かせるための詩なのです。

坂村真民は、「自分は天才とか名刀ではなく普通の人間だから、人より何倍も努力して生きてきた」と言っています。

鈍刀どんどうというのは、いくら磨いても光らないかもしれないが、そういう声に耳を貸すことなく、せつせと磨くことに専念し、一生懸命磨いておれば、磨く本人が変わってくる、つまり、磨く本人を光るものにしてくれるのだ、その努力をすることが大事なんだ、と真民は言っています。

真民自身も、晩生で、こつこつと生きてきた鈍刀のような人間でしたので、自分自身を光るものにしてくれるために、生涯をかけて鈍刀を磨き続けた人間でした。

「甚深微妙じんしんみみょう」というのは、仏教の世界で、法要や毎日のお勤めの前に必ず読まれる、「開経偈かいきやうげ」というお経の最初に出てくる言葉で、「甚深微妙の世界」とは、「はなはだ深く、計り知れないほど見事な世界」という意味です。

鈍刀どんどうを磨く

鈍刀をいくら磨いても
無駄なことだというが
何もそんなことばに
耳を借す必要はない
せつせと磨くのだ
刀は光らないかも知れないが
磨く本人が変わってくる
つまり刀がすまぬすまぬと言いながら
磨く本人を
光るものにしてくれるのだ
そこが甚深微妙じんしんみみょうの世界だ
だからせつせと磨くのだ

自分の成長と社会奉仕に関心のある方へ

ボランティアガイドをしませんか

平成29年度坂村真民記念館

ボランティアガイド養成講座・募集要項

受講無料

受講期間 平成29年
7月1日(土)～8月31日(木)

場所 坂村真民記念館
会議室

定員 25名程度(先着順)
受講決定者には、記念館よりお知らせします。

募集受付 希望者は、電話かメールで申し込みください。
メールの方は、氏名、住所、年齢、性別、電話番号を記載してお送りください。
〈電話〉089-969-3643
〈メール〉info@shinmin-museum.jp
問い合わせ先 TEL089-969-3643(坂村真民記念館)

現在35名の方が活動されています。
(30代から80代まで幅広い方々がいらっしゃいます。)

講座を修了し、
現在ボランティアガイドとして
活躍されている方々の声

- 来館者の方から質問を受け、館長に聞いたり、自分で調べていく中で、自分が知らなかった真民さんのことが良く分るようになった。
- 来館者の方が熱心なファンで、色々教えてもらうことが何度もある。
- 来館者の方と話をすることにより、自分自身が成長することに気付いた。

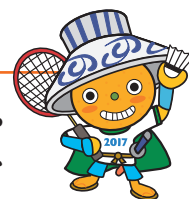
修了者には修了証書を授与し、平成30年1月から1日4時間を月に2～3回程度ガイドしていただきます。最初はベテランのガイドさんと一緒にいき、慣れてから1～2人でガイドします。

講座概要・日程表

回数	日 時	講 座 内 容	講 師
1	9月 8日(金) 10:00～12:00	開講式・坂村真民の生涯(1)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
2	9月15日(金) 10:00～12:00	坂村真民の生涯(2)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
3	9月22日(金) 10:00～12:00	坂村真民の人生と詩について(ビデオ鑑賞)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
4	10月 6日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(1) 三瓶・吉田時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
5	10月13日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(2) 宇和島時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
6	10月20日(金) 10:00～12:00	真民詩の魅力とその背景(3) 砥部時代	坂村真民記念館館長 西澤孝一
7	12月 1日(金) 10:00～12:00	家族にとつての坂村真民	長女 田中 梨恵子 三女 西澤 眞美子
8	12月 8日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(講義)	坂村真民記念館館長 西澤孝一
9	12月15日(金) 10:00～12:00	記念館の特色と展示作品の解説(実習) 修了式	坂村真民記念館館長 西澤孝一

企画展のお知らせ

スポーツに通じる代表的な詩墨作品を全館で展示
詩と人となりを見てもらうために



イメージキャラクター
とべっち

えひめ国体特別企画展「坂村真民の世界—すべての人に真民詩を—ようこそ砥部町へ ようこそ坂村真民記念館へ～」展について

期間 第1部:平成29年 6月17日(土)～11月12日(日)
第2部:平成29年11月18日(土)～平成30年2月25日(日)

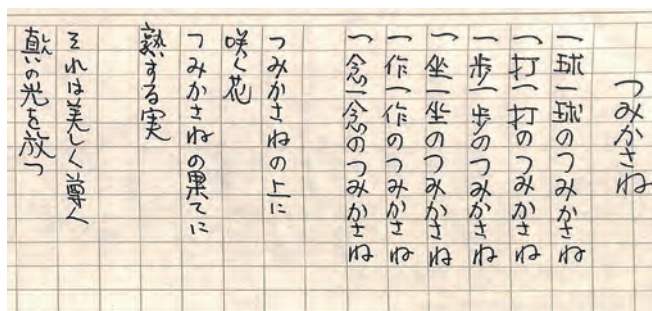
2017年9月30日から10月30日まで、砥部町の総合運動公園を中心として「第72回国民体育大会と第17回全国障害者スポーツ大会」が開催され、全国から選手や応援団として多くの皆さんが砥部町に来られます。

坂村記念館ではこの機会に、「こつこつと努力する大切さ」、「困難の中でも生きる希望と勇気を持つことの大切さ」を詠った詩や、「人生で色々なハンディを持ちながら、それを乗り越えて生きる人々へのエールを送る詩」を数多く書いている坂村真民の人となりとその詩を、多くの人に知ってもらうために、代表的な坂村真民の詩墨作品を全館で展示することにしました。

坂村真民の詩には、「試合に勝つことだけ」を求めているのではなく、「人間として成長すること」を願って、つら

い、苦しい練習を重ねて、「人間としての生き方」を求め続けることを詠った詩が多数あります。

そして、そうした詩を書くために、自分自身を厳しく鍛え、毎日を修行僧のように生きた坂村真民の生き方も多くの人に感動を与えるものと思っています。



記念館おすすめの本

神渡良平先生が書かれた真民詩物語が、 このほどPHP研究所より発行



『自分の花を咲かせよう 祈りの詩人 坂村真民の風光』

『自分の花を咲かせよう 祈りの詩人 坂村真民の風光』が発売されました。

坂村真民と交流のあった方々を訪ね、その方の「心の灯火」となった真民詩を掘り起こし、そこからその方の人生と真民詩にまつわる物語を解き明かしてゆく構成となっています。

登場する方は、山下泰裕全日本柔道連盟副会長、横田南嶺円覚寺派管長、イエローハット創業者の鍵山秀三郎さんなど馴染みのあるお名前が登場します。

どうぞ、お近くの書店で是非とも購入してください。坂村真民記念館いち押しの新刊書です。

著者プロフィール

かみわたりりょうへい

神渡良平 作家・評論家

1948年鹿児島生まれ。九州大学医学部中退後、新聞記者、雑誌記者を経て独立。『安岡正篤の世界』（同文館出版）がベストセラーになり、以後、講演や執筆活動に励む。右半身不随を克服して発表した、中村天風、佐藤一斎、マザー・テレサらの評伝は、多くの人々の感動を呼んだ。

発売日／平成29年5月23日 定価／1,500円(税別)



本もの
本を百万巻読んでも
本ものにはなれない
本は頭を肥やすが
足は少しも肥やしはしない
足からきた悟りが
本ものである

ちょっと
手ほどき

足の裏がつかむ
人生の「ほんとう」

坂村真民さんは、足の裏の詩をいくつか作っています。

「尊いのは足の裏である」は、人に知られず、きたない処と接し、黙々と務めを果たす、足の裏のような人間になれ、と、自分に言い聞かせる詩。

足は第二の心臓と呼ばれるように、人間の体にとって重要な働きをします。また、足の裏にはツボが集まっており、ここをマッサージをして体のコンディションを整えることもありますね。

人生の何かは、頭でわかるように思いますが、実は身体でつかんだことこそが、真実です。真民さんは、「本当の目は足の裏についており、本当の呼吸は足の裏です」と述べていて、人間の精神における足の裏の重要さを説いています。

真民さんが敬愛する、世尊も一遍上人も、足の人。すつくと大地を踏みしめて立つ、歩く。頭ではなく足の大切さを、肝に銘じておきたいものです。

坂村真民記念館を応援しています



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『木は氣なり』

百年の木には百年の氣が宿り

千年の木には千年の氣が宿る

鳩寿四 真民詩

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫

TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp> メール kao@nagiso.co.jp

砥部の地で、医療、看護、介護の三位一体を実現する砥部病院



介護付有料老人ホーム To-be

78居室/20㎡～24㎡(1F&2F)



住宅型有料老人ホーム
モンレーヴ砥部

18居室/2LDK 40㎡～90㎡(3F)

伊予郡砥部町麻生51-1(砥部病院横) TEL.089-969-0085 砥部病院ケアサービス株式会社

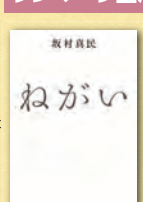
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載!



定価=本体3500円+税

筆の詩墨の花

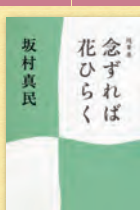
サンマーク出版



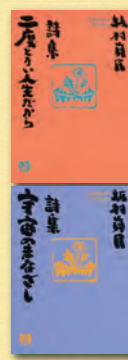
随筆集 念ずれば花ひらく
随筆集 めぐりあいのふしぎ
随筆集 愛の道しるべ

定価=本体各1800円+税

坂村真民の本



詩集 二度とない人生だから
詩集 宇宙のまなざし



定価=本体各1000円+税



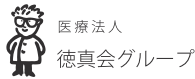
刊行から18年、
10万部突破の
超ロングセラー!

詩集 念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

いま届けたい、生き方の道しるべ



医療法人 徳真会グループ

TOKUSHINKAI QUARTZ TOWER 歯科・医科 総合メディカルビル 徳真会クォーツタワー

徳真会グループは、36年の歴史をもつ国内最大の歯科グループ。
拠点の一つ、東京都渋谷区の徳真会クォーツタワーには最先端治療が行える歯科診療所に加え国内屈指の技術力を誇る歯科技工部門「ワールドラボ」を併設。
また同ビルの中の歯科と医科との連携により患者さまが安心して総合的で高レベルな治療を受けることができます。

歯科の特長 **DENTAL & MEDICAL** 医科の特長



- 他に類を見ない高レベルな「消毒滅菌システム」
- 「専属の歯科技工部門」が高品質の治療を支える
- 日本トップクラスの専門医が「あらゆる症例に対応」
- 情報開示を徹底した明朗会計で「安心の適正価格」



- 頭痛の権威、東京女子医大名誉教授(神経内科) 岩田誠先生の「頭痛外来」**A**
- ハーバード・パリ大学、根来秀行教授による時計遺伝子 睡眠医学など先端の「アンチエイジング医学」**B**
- あなたは大丈夫? 「睡眠時無呼吸症候群」の検査・治療



総合受付 **03-6362-6688**

歯科 9:00 ~ 21:00 (年中無休)

医科 10:00 ~ 14:00 / 15:00 ~ 19:00



徳真会クォーツタワー



www.quartztower.com

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-10-10
徳真会 QUARTZ TOWER

〈フロアガイド〉

1.2F ピーシーデポ
スマートライフ青山店
03-5778-4671

4.5F 青山クォーツデンタルクリニック
03-6362-6688

3F クォーツホワイトデンタルクリニック
(オールケア・エステ・ホワイトニング)
03-6362-6683

7F クォーツデンタルクリニック
03-6362-6688

3F クォーツビューティ ネイル
03-6362-6693

8F クォーツメディカルクリニック
(内科、皮膚科、頭痛外来)
03-6362-6680

3F 整体院 癒庵堂
クォーツタワー店
03-3486-1900

9-12F クォーツギャラリー
03-6362-6691

坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 **特典** 会員証で入館無料1人 ほか
年会費2000円

一般会員 **特典** 会員証で入館無料1人 ほか
年会費5000円

特別会員 **特典** 会員証で入館無料2人 ほか
年会費10,000円

法人会員 **特典** 会員証で入館無料2人、
観覧券10枚贈呈 ほか
年会費10,000円

〈編集後記〉

6月17日からの国体特別企画展に向けて最終準備に入りました。真民詩のファンの皆様には、見ごたえのある作品が展示されますので、是非とも皆さんお誘いあわせのうへご来館ください。お待ちしております。(西)

タンポポだより vol.21 夏号

平成29年6月1日発行 表紙写真：西澤孝一

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内

TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、
小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり

詳しくはホームページをご覧ください

坂村真民記念館 友の会

検索